

掛川市文化振興計画改定（案）に関するパブリックコメントについて

1 実施期間

令和4年11月10日（木）～令和4年12月12日（月）

2 意見数（意見提出者数）

10件（3人）

3 意見の概要と市の考え方

No.	項目	意見	市の考え方
1	p.4 掛川市の文化の体系化	「生活文化」「行動の基礎となる文化」の中に、「健康文化」「養生文化」的要素を含んでいるのか。 「健康文化」「養生文化」に係る人材育成、組織全体のネットワークづくりや支援についても施策の視野に入れてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶文化が掛川市民の健康寿命の延伸に寄与していることは全国的にも有名であり、未病を最善とする養生文化にもつながっていることから、健康文化・養生文化についても含まれています。</li> <li>・健康に関する施策は、「第2次健康増進計画」「第3次食育推進計画」等を策定しており、今後も市を挙げて取り組んでいきます。</li> </ul>
2		市の文化資源の項目にある、「まちなかアート」が具体的に何を指すのかわかりづらい。アート以外の文化が芸術なども近年成果をあげつつあるので、市民の自主的、多様な文化活動とする方が適切ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけがわ茶エンナーレや掛川ひかりのオブジェ展など、まちなかで楽しむことができるアートを市の文化資源として捉えています。</li> <li>・市民の皆様の自主的な文化活動が基礎であることはもちろんですが、ここではその活動の対象や成果を文化資源として例示しています。</li> </ul>
3	p.7 成果指標	ここで唐突に茶エンナーレが出てくる理由が不明。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶エンナーレは、市として継続開催を目指していることから、文化政策の効果や成果を測る指標として採用致しました。</li> <li>・茶エンナーレのプログラムについては、市民の皆様に喜んでいただけるよう、よりよいものにしていきます。</li> </ul>
4	p.14～15 基本施策	プロの講演やイベントはきっかけ作りとして必要だが、そこにとどまってなかなか次のステップに行けないことが課題ではないか。恒常的、継続的に文化活動ができる受け皿をどう作るか、それを市民に投げかけ一緒に解決していく施策を打ち出してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画の実効性を確保することで、文化の裾野を広げることを目指します。ご指摘の内容につきましては、基本施策の2-2、7-3に含まれます。</li> <li>・また、文化芸術サポートセンターも受け皿の一つになると考えます。</li> </ul>

No.	項目	意見	市の考え方
5	p.19 基本施策	喫茶文化の継承・発展とあるが、掛川に喫茶文化と言えるほどのものがあつたのか疑問。継承より創出の方が現実的ではないか。 お茶の様々な楽しみ方を市民から公募して企画すれば、喫茶文化の確立・発展に寄与するのでは。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市では緑茶で乾杯条例をはじめ、喫茶文化の普及を推進しており、古くから日常的にお茶を楽しむ習慣もあります。また、すでにお茶に関わる活動をされている市民の方も多くいらっしゃることから、継承・発展という表現といたしました。</li> </ul>
6		重点プロジェクトがなぜこの3つなのか。むしろ、今あるもの(美術館や続いている活動)に重点を置くのが必要ではないか。 茶エンナーレは、アートと茶文化のコラボというコンセプトが消化不良のままであり、正直何がしたいのかよくわからない。市の職員の負担も大きく、やるなら小さく生んで大きく育てるほうがよい。 最初から重点プロジェクトにすると引っ込みがつかなくなる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の施設や活動については、重点プロジェクト3の情報発信により、周知を図ります。また、重点プロジェクト1の伴走機能の強化を位置づけています。</li> <li>茶エンナーレについては、市の文化政策に合うような形でよりよいものにしていきます。</li> </ul>
7	p.30 掛川市の文化 関連施設	「地域の公共施設」の中の「西郷みらい館」の施設内容に現在使用している部屋名を追加してほしい。 部屋名：世代間交流室、学習室、まちづくりセンター等 また、「西郷地域生涯学習センター」を「西郷みらい館」の次の欄に変更してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内容を追加いたします。</li> <li>欄の位置を変更いたします。</li> </ul>
8	p.39 参考資料	美術館はオープンして24年にもなり、認知を課題にする時期はとうに過ぎている。入場者数をいかに増やし市民にアートに触れてもらうのが大切なのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年層の認知度が低いことから、入場者数の増加と並行して、認知度の向上に努めます。</li> </ul>
9	p.40～41 参考資料	各年代とも存在を知らないが高い数値になっている。30代の特徴をコメントするなら、「存在を知らないが最多だが、他年代と比べて関心はやや多い」が適切ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現を再考いたします。</li> </ul>
10	p.48 改定 スケジュール	スケジュール表の最後の方は、令和4年ではなく令和5年。 また、パブコメ募集期間が12月8日とあるが、募集要綱には12日となっている。このあたり統一されたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>修正いたします。</li> </ul>